



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月10日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口俊文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 寺田尚文
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 TEL 0968-66-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,548	△0.8	30	82.0	21	270.9	16	—
28年12月期第1四半期	1,559	2.8	16	—	5	—	△4	—

(注)包括利益 29年12月期第1四半期 10百万円 (—%) 28年12月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年12月期第1四半期	1.57	—
28年12月期第1四半期	△0.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年12月期第1四半期	21,767	10,670	49.0	1,032.18
28年12月期	21,738	10,710	49.3	1,036.12

(参考)自己資本 29年12月期第1四半期 10,670百万円 28年12月期 10,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年12月期	—	3.00	—	5.00	8.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	7,600	7.6	320	24.3	290	25.8	180	26.4	17.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	10,346,683 株	28年12月期	10,346,683 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

29年12月期1Q	9,253 株	28年12月期	9,253 株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	10,337,430 株	28年12月期1Q	10,337,430 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、九州のホテルは売上高が増加したものの、九州の遊園地や北海道のホテルの売上高が減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年並みの1,548,038千円（前年同期比0.8%減）となりました。

損益面につきましては、九州の遊園地の春催事期間の短縮など売上原価の減少等により、営業利益は30,357千円（前年同期比82.0%増）、経常利益は21,627千円（前年同期比270.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,262千円（前年同期は4,299千円の損失）となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,548,038	1,559,950	△11,911	△0.8
営業利益	30,357	16,676	13,681	82.0
経常利益	21,627	5,831	15,796	270.9
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は純損失(△)	16,262	△4,299	20,561	—

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①遊園地セグメント

九州の遊園地は、3月中盤までは昨年を上回るペースで推移していましたが、3月末の悪天候により減少し、また北海道のスキー事業も雪不足の影響による営業期間短縮により利用者数が低調に推移したことから、当セグメントの売上高は前年同期比23,945千円減収（△3.2%）の725,552千円となりました。一方、セグメント利益は、九州の遊園地の春催事期間の短縮など経費節減に努めた結果、前年同期比10,406千円増益（+11.9%）の98,029千円となりました。

②ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、利用者数は前年並みとなりましたが、韓国での会員権販売が好調に推移したため、当セグメントの売上高は前年同期比6,426千円増収（+2.9%）の227,613千円となり、セグメント損失は前年同期比4,815千円損失減の4,278千円となりました。

③ホテルセグメント

北海道のホテルでは宿泊・宴会部門とも低調に推移しましたが、九州のホテルが宿泊者数の増加により宿泊部門・料飲部門の売上高が好調であったため、当セグメントの売上高は前年同期比12,380千円増収（+2.5%）の502,115千円となり、セグメント損失は前年同期比17,491千円損失減の3,621千円となりました。

④不動産セグメント

不動産セグメントは、新たにコンビニエンスストアへの土地賃貸を開始しましたが、賃貸対象土地に一部異動があったため、土地賃貸収入は前年並みの36,869千円となり、セグメント利益も前年並みの24,864千円となりました。

⑤土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、地元発電所から新たに事業を受託したものの、土木工事の受注が低調に推移したため、売上高は前年同期比6,441千円減収（△10.3%）の55,886千円となり、セグメント利益は、前年同期比11,394千円減益（△81.1%）の2,651千円となりました。

(注) セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っており、上記すべてのセグメント利益合計117,645千円より、各報告セグメントに配賦していない一般管理費を含む87,287千円を差し引いた30,357千円が当第1四半期連結累計期間の営業利益となります。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

流動資産は、700,618千円（前連結会計年度末比20,919千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金で57,575千円減少したものの、その他で60,973千円増加したことによるものであります。

② 固定資産

固定資産は、21,066,989千円（前連結会計年度末比7,866千円増加）となりました。主な要因は、建物及び構築物で29,254千円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

流動負債は、4,241,635千円（前連結会計年度末比247,984千円増加）となりました。主な要因は営業未払金で114,261千円、1年以内償還予定の社債で100,000千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

固定負債は、6,855,907千円（前連結会計年度末比178,466千円減少）となりました。主な要因は社債で100,000千円、長期借入金で39,682千円、長期預り金で37,200千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

純資産は、10,670,063千円（前連結会計年度末比40,732千円減少）となりました。主な要因は利益剰余金で35,424千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月14日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	288,214	230,638
受取手形及び売掛金	202,507	218,111
商品及び製品	37,590	41,502
原材料及び貯蔵品	57,403	49,244
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	15,364	21,534
その他	75,272	136,245
貸倒引当金	△3,782	△3,788
流動資産合計	679,699	700,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,108,610	4,137,865
機械装置及び運搬具(純額)	621,234	622,272
土地	15,062,040	15,064,075
その他(純額)	206,072	188,337
有形固定資産合計	19,997,958	20,012,551
無形固定資産		
その他	234,105	232,625
無形固定資産合計	234,105	232,625
投資その他の資産		
投資有価証券	337,788	330,267
繰延税金資産	303,979	303,924
退職給付に係る資産	121,403	124,740
その他	64,986	63,979
貸倒引当金	△1,100	△1,100
投資その他の資産合計	827,058	821,812
固定資産合計	21,059,122	21,066,989
資産合計	21,738,821	21,767,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,628	94,536
営業未払金	120,698	234,959
1年内償還予定の社債	—	100,000
短期借入金	3,356,932	3,371,293
未払金	255,643	261,865
未払法人税等	4,835	25,122
賞与引当金	—	20,875
その他	156,914	132,983
流動負債合計	3,993,651	4,241,635
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	3,809,989	3,770,307
長期預り金	2,909,042	2,871,842
退職給付に係る負債	8,938	9,121
その他	206,404	204,636
固定負債合計	7,034,374	6,855,907
負債合計	11,028,025	11,097,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,689,214	1,653,789
自己株式	△3,033	△3,033
株主資本合計	10,634,116	10,598,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,679	71,371
その他の包括利益累計額合計	76,679	71,371
純資産合計	10,710,795	10,670,063
負債純資産合計	21,738,821	21,767,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,559,950	1,548,038
売上原価	1,396,817	1,355,814
売上総利益	163,132	192,223
販売費及び一般管理費	146,455	161,865
営業利益	16,676	30,357
営業外収益		
受取利息	16	0
受取配当金	780	840
受取賃貸料	2,050	2,080
受取保険金	194	86
雑収入	1,086	930
営業外収益合計	4,127	3,937
営業外費用		
支払利息	14,711	12,496
雑損失	261	171
営業外費用合計	14,973	12,667
経常利益	5,831	21,627
特別利益		
補助金収入	—	58,726
受取保険金	—	14,287
特別利益合計	—	73,013
特別損失		
固定資産除売却損	1,799	1,926
固定資産圧縮損	—	68,300
その他	—	4,559
特別損失合計	1,799	74,786
税金等調整前四半期純利益	4,031	19,853
法人税、住民税及び事業税	7,819	7,354
法人税等調整額	510	△3,762
法人税等合計	8,330	3,591
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,299	16,262
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,299	16,262

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,299	16,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,047	△5,307
その他の包括利益合計	△37,047	△5,307
四半期包括利益	△41,346	10,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,346	10,955
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	749,497	221,187	489,735	37,200	62,328	1,559,950	-	1,559,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	483	2,696	6,602	2,837	2,287	14,908	△14,908	-
計	749,981	223,884	496,338	40,038	64,615	1,574,858	△14,908	1,559,950
セグメント利益又は損失(△)	87,622	△9,094	△21,112	24,953	14,046	96,415	△79,739	16,676

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,449千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建 設資材事 業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	725,552	227,613	502,115	36,869	55,886	1,548,038	-	1,548,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	835	2,695	6,538	5,066	2,124	17,260	△17,260	-
計	726,387	230,309	508,653	41,936	58,011	1,565,298	△17,260	1,548,038
セグメント利益又は損失(△)	98,029	△4,278	△3,621	24,864	2,651	117,645	△87,287	30,357

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,955千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。